



女性が輝いて働く道はまだ遠い

株式会社 コスモスコーポレーション (美容業)
株式会社 トレジャーJP (化粧品製造販売業)
代表取締役社長
薬剤師・臨床検査技師・美容師

三谷てるみ



OMA

女性経営者シリーズ

男女共同参画や女性活躍推進法など、女性が働く事への期待が高まっている。それに伴って待機児童問題がクローズアップされ、“保育所落ちた、日本死ぬ”とか言う“流行語”まで出来た。仕事を続けながら子供を産み育てて来た経験から、そして女性ばかりの会社の代表としても、女性が働く事の困難を感じずには居られない。

私自身、女性であっても自分の口は自分で養うものだという考えでいたので、薬科大学を卒業後、製薬会社に就職した。しかし、女性が仕事を続けるには、経済的な理由があれば認めてもらえるが、自己実現だ、自立だといっても、例えば家族に何か起こった場合、妻や娘が仕事を辞めて、介護や看病や家事に専念する事になる。そして、一端家庭人になってしまうと、社会は猛スピードで進んでいるので中々復帰は難しい。私の場合も突然の父の死で、母がパニック状態になり、会社を辞めて一時期家業を手伝う事になり、そのうち結婚し子供が出来、このままではだめだと思った時には、7年のブランクが出来ていた。今のように医薬分業でなくても、薬剤師の免許証さえあれば仕事はあった。しかし、生涯の仕事にする為に、またどのような事であっても、いつでも腕一本で転職できるように、当時問題になっていた化粧品かぶれ（接触皮膚炎）の第一人者に弟子入りして、皮膚科学と化粧品科学の知識とスキルを身に付け

た。育休など無い時代に仕事を続けられたのも、その財産があったからで、第二子の出産・育児・最後は介護まで一通り経験した。母や夫や子供達の協力があってお陰で、仕事第一に頑張る事が出来た。私は、十分に仕事が出来たが、今我社は、働く女性の問題を多く抱えている。我社は結婚式場の美容が主な業務で、土日が忙しく、結婚式の多い日は朝も早いし、夜は結構遅くなる事もある。若い女性社員達は次々に結婚し、そのうち出産を迎える。子供が出来れば当然の事として待機児童の問題が生じる。やっと保育所に入る事が出来ても日曜日の出勤が難しい。閉店まで残る事が出来ない。子供が熱でも出せば突然休まなければならないので花嫁の担当に入れない。だから補助の仕事しか出来ない。結局独身の若い社員にしわ寄せが行く。店長であっても育児休業明けは元の地位に復帰出来ない。ハローワークからは、会社が不当な扱いをしているように言われるが、本人が時短勤務を希望する。9時から5時までのデスクワークと違い、サービス業はテレワークも在宅勤務も出来ない。お客様次第になる。まずは十分な収容力のある保育施設が必要ではあるが、病児保育も必要だし、サービス業従事者が多い現状を考えると、日曜祝日の保育も必要だし、保育時間の延長も必要だ。実は女性が輝いて働くのは、まだまだ大変であって、道は遠いのである。